

ET産子 チバザビーフ枝肉共励会（黒毛和種）で最優秀賞を獲得

今回は、チバザビーフ枝肉共励会で、ET研究所由来の受精卵産子が最優秀賞を獲得いたしましたので、それを紹介させていただきます。

チバザビーフ枝肉共励会は、本年2月7日に、東京都中央卸売り市場で行われました。この枝肉共励会は、千葉県内各銘柄牛が一同に会し千葉県産牛肉の知名度向上を目的に行われた初めての共励会であり、黒毛和種と交雑種、あわせて40頭が出品されました。黒毛和種のなかで、(農法)宮澤農産より出品された、父は百合茂、母はふくこ(母の父:福之国)の枝肉が最優秀賞を受賞しました(去勢、29ヶ月齢、BMS No11)。

この受精卵は全農ET研究所東日本分場の供卵牛から採卵され、受精卵を千葉県の(農法)宮澤農産まで採卵当日に輸送後、受卵牛(F1)にETされ、和牛ET産子として哺育から肥育までされました。今回の受賞は、繁殖管理から肥育までの一貫の飼養管理に、ご家族・従業員の方々が日々、ご努力された賜物だと考えられます。誠におめでとうございます。

宮澤武志さんの談話

「肥育途中のビタミンAの切れ方も良く、この牛だと思い、出品した。今回は良い結果であったが、今後も肥育技術のさらなる研鑽を行っていきたい」と後日談話をいただきました。

今回最優秀賞を受賞した受精卵と全兄弟の受精卵(百合茂×ふくこ、9卵)と、勝忠平を掛け合わせた異父兄弟の受精卵(勝忠平×ふくこ、2卵)を5月2日のリストで提示させていただいておりますので、ご興味のある方はご一報をお待ちしております。

ET研究所ニュース

2012年 5月号

文責；全農ET研究所本場 波山